

# 本部だより

●第11号



マーシャル方面遺族会



マーシャル方面遺族会現地慰霊巡拝（平成16.10.5クエゼリン島慰霊碑）

平成十七年元旦

# 謹賀新年

本部役員及び篤志会員

相談役

おぎゆうきよこ  
大給湛子

会長

黒川 誠

副会長

晝間楽平

常任幹事

荒木常子 高橋鎮夫

幹事

高林芳夫 山口良二

佐竹エス 草場 寛

晝間志津子

篤志会員

松平永芳 徳原徳子

山村 要

平成十七年度

## 慰霊祭・総会・直会のご案内

会長 黒川 誠

下さい。

●直会への当日申し込みは、弁当の注文が出来ませんのでお受け出来ません。

会員、会友の皆様には、お健やかに

新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年の慰霊祭、総会、直会を次のように行いますので、お誘い合わせの上、ご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

## ◆慰霊祭

日時 平成十七年四月二日(土)

午前十時御本殿(受付は九時より)

受付 靖国神社参集殿前

## ◆定期総会

会場は昨年と同じ靖国会館(田安・

玉垣の間)です。

## ◆直会(なほらい)

総会終了後、その場が直会の会場となります。

会費は一名四千五百円となります。

閉会は午後三時を予定しています。

●当日の出欠に関わらず、同封のはがきに全欄ご記入の上、二月末日まで本部に到着するようにご投函願います。

欠席の方も会員の現状把握に必要です。ですのでお忘れなくお出し下さい。

●直会出席の方で、取り消しを希望の方は、三月二十五日までに本部へご連絡下さい。納入済みの料金は後日返金致します。ご連絡が締め切り日を過ぎたときは返金出来ませんので、ご了承

●本会への寄付金、直会費、

玉串料(一名に付五百円)

は、すべて同封の郵便振替用紙で二月末日までにお送り下さい。(当日の現金受付は原則として取り扱い致しません。)

●九段会館へ宿泊希望の方にお知らせします。

本部より宿泊の予約はしてありますから、宿泊される方は直接会館へ宿泊の申し込みをして下さい。

■宿泊費(一名九千九百七十五円 一泊朝夕食事付)は各自でお支払い下さい。

■九段会館宿泊部

(東京都千代田区九段一―六一六  
電話 〇三―三三六―一五五二一)

# 六十年記念現地慰霊巡拝（クエゼリン・ルオット）

会長 黒川 誠

平成十六年十月二日、本会主催による現地慰霊に参加する一行二十二名（内四名は成田ホテルで合流）は九段会館に集合、靖国神社に参拝したあと神門で記念写真をとり、晝間副会長夫妻・高橋、高林、諸兄の見送りを受けバスで一路成田ホテルにむかう。同日ホテルで結団式を行い、全員の自己紹介のあと田村添乗員の説明があり、会長より慰霊巡拝の計画予定の発表等があった。

クエゼリン島主碑前に全員集い、快晴の天候に恵まれてルアン報道官、シゲ子さん等の臨席の下で開会する。追悼のことは、全員で行い中には感きわまって声もくぐもり勝になる会員もおり、全員感慨を新にしたことでした。厳肅のうちに慰霊祭はとどこおりなく斉行された。

十月三日 早朝より搭乗手続きのため空港に向う。きびしい所持品の検査を受けてグアムに出発する。同日はグアムに宿泊。

私は大統領に面接する目的のため一行と別れマジユロに向う。空港にて山村要さんの出迎えを受けてからホテルより出迎えの車で宿舎に向う。ホテル到着後山村さんと本会の近況更に今回の慰霊巡拝の目的等について遅くまで話合う。大統領との面接についても依頼する。

十月六日 ルオット島へ向ふ。今回は司令官が新任のため全員で行くことが出来ないのが残念でした。ルオット戦没者の遺族だけに限定されて七名で墓参をする。

十月四日 グアムをあとにしてトラック・ポナペ・コスラエを経て目的のクエゼリンに十七時到着、途中着陸時ごとに機内はきびしい検査が再三行われテロ対策のために想像以上の嚴重なものでした。

十月五日 早朝ホテルに大統領が執務前にお出で頂き面接する。山村さんの通訳で今回の目的について詳細に説明し、搭乗時間がないため正式の表敬訪問は出来ない旨を話して諒承を求める。

飛行機の都合で早朝出発した故か時間にかんがりの余裕があり、墓参のあと戦跡めぐりが数多く出来たのは私が知る限りでははじめてと思いました。前日同様天候に恵まれて気持ちの良い慰霊が出来たことはご神霊のお加護なら

同日十一時三十分頃、クエゼリン空港に戻り慰霊祭の準備をする。午後二時より別紙式次第の通り菊地彦巨君の司会進行により慰霊祭を行う。

同日十一時三十分頃、クエゼリン空港に戻り慰霊祭の準備をする。午後二時より別紙式次第の通り菊地彦巨君の司会進行により慰霊祭を行う。

同日十一時三十分頃、クエゼリン空港に戻り慰霊祭の準備をする。午後二時より別紙式次第の通り菊地彦巨君の司会進行により慰霊祭を行う。

んと感無量の思いでした。

十月七日 今回の慰霊行事もどこおりなく完了。ルアン報道官・シゲ子さん等の見送りを受け、クエゼリンをあとにグアムに向う。

グアム到着後同夜夕食時に解団式。全員体調をくずすことなく元気で無事帰ることが出来た事をお互い喜び合っ  
て翌八日成田到着後は自由散会を申合  
わせて閉会とする。

追伸

今回の慰霊は去る十九年二月クエゼリン・ルオット両島で戦没されてより六十年の節目に当るので主碑・ルオット碑に記念の植樹(苗木)をする。



植樹、(プルメリア) ルオット

巡拝参加者名(二十二名)

「クエゼリン」

泉水堯恵 奥井国夫 奥井禮子 腰川  
妙子 豊田静子 林 良子 山本 忠  
渡部 守 渡部幸典 渡部俊哉 川端  
英夫 川端時江 北條勝成 伊藤吉男

伊藤トラヨ

「ルオット」

菊地彦巨 黒川 誠 佐竹エス 谷

正文 佐藤知子

「ウオツゼ」

大井和子 大友征子

式次第

マーシャル・ギルバート諸島

戦没者慰霊祭

マーシャル方面遺族会主催

一、開会

二、国歌斉唱

三、祭文

四、黙とう つづいて般若心經を全員

で泉水さんに続き後唱する。

五、追悼のことば……全員で

六、合唱 海ゆかば・ふるさと

七、拝礼

八、閉会

## 祭文

本日慰霊祭をクエゼリン島主碑前で  
行うことになりました。

私達遺族二十二名は威儀を正しそ  
って参列致します。

先の大戦で三万五千余柱の皆さまが  
壮烈なご最後をとげられてより六十年  
の歳月が流れました。平和の時代が続  
きますと戦争の苦しさ悲しみがうす  
くような風潮を残念に思います。しか  
しながら、私達遺族は皆高齢になり  
ましたがご英霊の皆さま方はことは忘れ  
ません。深く心にきざまれている肉親  
に対する切ない想いは消え去ることは  
ありません。

ご祭神とまつられている靖國神社に  
祖國のため尊い生命を捧げられたみた

まのご遺徳を偲び毎年慰霊祭、永代神楽祭を斉行奉慰顕彰申し上げ永代に亘り継承することをお誓い申し上げます。

平成十六年十月五日

マーシャル方面遺族会会長 黒川 誠

## 追悼の辞

本会主催による慰霊巡拜を企画して、会長ほか二十二名が集い墓参にまいりました。

私達が墓参出来ますのは基地司令官殿をはじめ関係者皆さまの深いご理解と格別のご配慮のたまものと有難く厚くお礼申し上げます。先の大戦で遠い異國の地で散華された肉親を思い浮べたとききびしい軍律のもとで耐乏生活のあけくれは想像を絶するものがあつたと思います。苦しい戦いのすえに全員散華されたあなた方の無念さは思うと六十年を経た今日でも悲しみが一杯になりやりきれぬ思いです。

現在の島はヤシが繁りみどり一色のきれいな風景にかわり六十年前の激戦はあとかたもなく僅かに残る防御陣地・司令部あとが当時をしのぶすがとなつています。ご英霊の皆さまがご祭神としてまつられている靖國神社で今年も桜花らんまんの下で慰霊祭斉行致しました。

平成十四年、本会名で七月十五日を命日祭とする永代神楽祭を申込みました。これにより神社では秋山門造命・山田道行命・西田祥實命・柴崎恵次命はじめ三万五千余柱の永代亘りマーシャル方面遺族会名と共に奉慰顕彰されます。

靖國神社御創立百三十年記念と玉碎の年より数えて六十年の節目に当り私達は身を引きしめてご英霊の心を宗として子子孫孫大和民族の魂をつぎ伝えてまいります。

平成十六年十月五日

マーシャル方面遺族会会長 黒川 誠

永代神楽祭斉行

会長 黒川 誠

平成十六年七月十五日、本会二回目の永代神楽祭は、梅雨時にもかかわらず天候に恵まれて行事にふさわしい一日となりました。

出席者十五名（黒川会長・晝間副会長・富田ミツ・富田キミ・佐竹エス・櫛崎馨・山森久江・中村順子・星野綾子・小林法子・佐藤知子・森静子・晝間志津子・黒川直吉・森田穰二）

参集所は当時改築中のため（完成後は参集殿となる）仮設参集所の二階へ集合する。午後二時より神官の案内で手水を使いお祓いを受けて昇願する。当日は他の参拝者もあつて同席となる。一般参列者の祝詞奉上につづき本会の祝詞奉上となる。「秋山門造命・山田道行命・柴崎恵次命・西田祥實命はじめ三万五千余柱の命」を読み上げられる。会長の玉串奉奠に合せて一同揃って二礼二拍手一礼の作法に従い参

拝をして退下する。

靖国神社は七月十三日より十六日までみたままつりの最中で境内両側には大小の提灯が飾られています。

当会の大提灯も掲灯されて終日参拝者でにぎわい心強く感じました。

毎年斉行される永代神楽祭に私達はより多く揃ってすこしでも永く参拝出来る努力をしてご英霊のみたまにお応えしたいと考えております。

(第三回永代神楽祭は、平成十七年七月十五日午後二時本殿にて執り行われる予定です。出席希望の方は、六月三十日迄本部宛にお申し込み下さい。)

●寄付者ご芳名

平成十六年四月十二日から十二月三十一日の間にご協賛戴いた方々七名で合計二万八千円でした。有り難うございました。

北海道 伊藤吉男  
 埼玉県 宇田川ひさ 野田雅子

神奈川県 榎本益明

千葉県 石井健蔵

富山県 金山深雪

香川県 秋山武 秋山百合子

高知県 山本忠

愛媛県 森田静子

(敬称略 順不同)

埼玉県 野田 雅子様 のお便り

毎年ご多忙の中を有り難うございます。

毎年弟の事を想い、今年は是非伺いたいと願いましたが、何分にも八十六才の高齢になり一人ぐらしで遠くの外出はお心遣いを頂く事となりますので家でお祈りしました。わずかで申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。

●靖国神社宮司交替の件

平成十六年九月十日付を以て退任された湯澤貞前宮司の後任として、九月十一日南部利昭氏が靖国神社第九代宮司として就任されました。

靖国神社 秋季例大祭に参列して

黒川 誠

平成十六年十月十八日当日祭の案内状が本会宛にきたので、正・副・会長で出席する。

九月に完成した参集殿で九時からの受付をすませて新装になった参集殿の見学を二階一階地階の順に見学をする。外観は神社にふさわしい建物に見え日本建築の粹を集めたと思われ、内装は使い易さを取り入れられているように感じました。

参列者全員の昇殿参拝が終了して十一時三十分より参集殿一階大広間で会食となりましたが、冒頭南部新宮司の就任挨拶があり、つづいて崇敬奉賛会久松会長

の祝辞があつて二時すぎに解散となる。尚例大祭の期間中御本殿両側に本会で寄贈した錦旗一対が飾られ、秋の陽ざしを受けて例大祭に錦上花を添える如く映ります。六十年の良き記念となり残るところでしょう。

## 靖国神社秋季例大祭盛大に齋行

霊璽奉安祭執行新たに三十七柱合祀

参道の樹々が美しく色づき始め、大輪の菊花も色とりどりに咲き薫る季節、恒例の靖国神社秋季例大祭が、十月十七日から二十日までの四日間に亘り、厳肅かつ盛大に齋行された。例大祭奉仕にあたり、南部宮司以下奉仕の神職は十六日夕刻から齋戒・参籠に入った。翌十七日午後三時には、「清祓ノ儀」が行われ、奉仕員・神域・祭儀の諸具が祓い清められ、四日間に亘る例大祭がつつがなく奉仕できるよう神前に祈願する「本殿ノ儀」が執行された。

同日夜午後七時には、浄園の中「第二百二十九回霊璽奉安祭」が厳かに齋行され、新たに三十七柱の神霊が御本殿正床に奉遷、お祀りされた。

勅使堤公長掌典参向

翌十八日は「秋季例大祭当日祭」。午前十時に齋主南部宮司以下祭員が御本殿に参進。先ず、國學院大學吹奏楽部の奏する国歌を参列者一同で二回斉唱後、同吹奏楽部の奏する「国の鎮」と共に、御内陣の御扉が開かれた。次に和妙・荒妙をはじめ海川

山野の神撰五十台が供えられた後、宮司が昨夜新たに三十七柱の神霊をお迎えしたことを奉告すると共に、英霊の安らかなるお鎮まりと世界の平和を祈念する祝詞を奏上した。この後、午前十時三十分、参列者が奉迎申し上げる中、堤公長掌典が勅使として参向。御幣物を奉献し、大御心のまにまに御祭文を奏上せられた。

続いて、國學院大學フォイエルコール混声合唱団による「鎮魂頌」「靖国神社の歌」の献楽の後、宮司が玉串を奉りて拝礼、続いて日本遺族会会長代理の森田次夫副会長、英霊にこたえる会堀江正夫会長、神社本庁久邇邦昭総理、全國護國神社會面山千岳会長、靖国神社崇敬奉賛会久松定成会長、勝谷保・小田村四郎・山本卓眞・所功各崇敬者総代が昇殿し、玉串を奉りて拝礼された。その後、南部宮司が参列者に対し挨拶を申し上げ、祭典は滞りなく終了した。

尚、当日祭には御遺族・崇敬者等九八三名が祭典参列した。

翌十九日の「秋季例大祭第二日祭」は阿南惟正崇敬者総代、湯澤貞前宮司をはじめ、全国から参集した御遺族・戦友・崇敬者一〇七六名が参列。また、翌二十日の秋季例

大祭第三日祭」には、靖国神社崇敬奉賛会会長代理の藤本良爾常務理事、島津肇子・三好達両崇敬者総代をはじめ、崇敬者七八〇名が参列。両祭典ともつつがなく執行された。二十日午後六時から、祭典の無事終了を神前に奉告する「直会ノ儀」が執り行われ、四日間に亘る祭儀は滞りなく終了した。

皇族方御参拝

十八日の午後一時半、寛仁親王殿下及び瑤子女王殿下が、翌十九日の同時刻に三笠宮殿下が到着殿に御参着。暫し御休憩の後、昇殿せられ玉串を捧げて御拝礼。次いで、拜殿にて御遺族・崇敬者に親しくお言葉をかけられた。尚、寛仁親王殿下御次女の瑤子女王殿下におかれては、初めての靖国神社参拝であられ、昨年の秋季例大祭には御長女の彬子女王殿下が御参拝にいられた。

国会議員団参拝

十九日の午前八時には、「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」（瓦力会長の衆議院議員並びに参議院議員一六三名（代理含む）が参拝し、これに併せて倉田寛之前参議院議長が参拝された。（神社社報「靖国」第五九三号より転載―一部省略）



マーシャル諸島共和国国章

カセイ・ノート大統領  
(マーシャル諸島共和国)  
山村 要 黒川会長

クエゼリン島慰霊祭

ルオット島風景

ルオット島管理責任者  
フロイド・コーダー氏

ルオット島慰霊碑  
(H16.10.6)

ルアン・ファンタジア報  
道官とシゲ子さん



●環礁・本部だより第11号●発行日：平成17年2月1日●発行人：黒川 誠  
●マーシャル方面遺族会本部：〒142-0051東京都品川区平塚3-4-17・電話03-3783-8382  
●ファックス03-3783-8384●振替：東京00100-0-93487